



さいじょう 国際交流NEWS

第3号

May 2014

目次

ALTの一日 1

中高生の国際的な春休み 2

東北で国際交流 2

フェ市の通学風景 3

防災知識シリーズ：地震 3

英語でGO! 4

国際交流EVENTS 4

さいじょう国際交流NEWS

は年4回西条市役所総務課国際交流係によって発行されています。ご質問・ご感想、または掲載してほしい情報がありましたら下記までご連絡ください。



ALTという言葉は「外国語指導助手」の略であることがよく知られているようですが、ALTは具体的にどんな業務があるか、またどんな生活を送っているのかということが想像できない人が少なくないらしいです。

それを明らかにするために、イギリスとアメリカの二重国籍を取得しているローラ・ホール先生にインタビューしました。

丹原東中学校がホール先生の「ベース校」です。8時30分に出勤して、1日に授業を4つぐらい教えています。

週2回小学校で高学年を教えていて、それに月1回程度幼稚園で働いています。西条市のALTたちがみんな同じように学校を回っていて、11校に自転車で通っているALTもいます。意外に体力が必要な仕事のようにです。

ホール先生は勤務時間内授業がない時に職員室で授業の支度をしたり、英語の教授を手伝ったりしている

ことが多いです。しかし、中間試験などの時に授業が少なくなり、どうやって手伝わたらいいかとホール先生を含めてALTがよく言っています。ホール先生によると、そのような時以外に仕事

「私の家族には先生が

多いため、先生に力になれる仕事を目指しました。それに、いろいろなところに住んできましたから、人と人との交流を推める大切さはよくわかります。ALTの仕事の申し込んだ理由は、その両方のことにつながっているからです。」

ローラ・ホール先生

事の一番大変なところは日本語の環境で働くため頭が疲れることです。ほかの職員がとてもやさしくていつも手助けをしてくれていると言っていました。日本

語に疲れた時に英語の先生がいると特にありがたいと伝えました。

仕事の好きなところを聞いたら、授業がうまく実行できた満足感に違いなそうです。最近英語の勉強に関心がなかった二人の生徒がようやくホール先生に打ち解けて積極的に質問を聞いたという嬉しい思い出を語りました。

外国での仕事には大変なことが当然ですが、ホール先生は頑張っています。丹原が気に入って、合唱団などにも参加しているらしいです。(J)

活動
紹介

Spring Vacation: 西条市の中高生の国際的な春休み

English Camp at 西条石鎚ふれあいの里

3月21日から2泊3日でEnglish Campを開催しました。西条市内の中高生22人がALT（外国語指導助手）8人と一緒に英語でコミュニケーションをしたり、料理を作ったりして楽しみました。

“I came to camp because I'm interested in English and I want to use it in the future. I want to work abroad as a newspaper reporter.”

（興味があってキャンプに参加しました。将来は英語を活用しながら、海外で新聞記者として働きたいと思います。）と新居浜西高校1年生の佐伯悠人さんが英語で話しました。

素晴らしい自然の中に、生徒たちはさまざまなアクティビティに挑戦し、楽しく過ごしました。ニュージーランド出身のホーガン・ギル先生のスコーンづくり、宝探しゲームなどで3日間満喫できました。次回のEnglish Campを生徒たちもALTたちも楽しみにしているようです。(J)



アクション！英語で時代劇を演じました。

イギリス・スタディツアー

3月21日から29日にかけて西条高等学校1年生22人がイギリスへ科学をテーマにするスタディーツアーに参加しました。

生徒たちはケンブリッジ大学の研究者の前で発表を

したり、グリニッジ天文台などを訪れたりすることで科学史が実感できました。四国鉄道文化会館とのゆかりがあるイギリス国立鉄道博物館も訪問しました。

イギリス出身の西条市小学校英語指導助手リチャード・ウェストロップも同行しました。ウェストロップ先生によると、スタディーツアーには正式な英語の教室がひとつもなく、今まで磨いてきた英語の知識を実行することで勉強をしたり、研究者とコ

ミュニケーションをとったり将来の科学者としての育成を達成したそうです。科学の共通語は英語にほかないとウェストロップ先生が強調していました。

医療系を目指している高橋遥奈さんに聞くと、研究発表会の後の宴会が一番面白い経験でした。脳神経専門の博士と話ができて、日本に帰ってもメールを交換しているそうです。スタディーツアーのような活動が西条市と様々なところの関係の種になっています。(J)

東北で国際交流 —アフガニスタンからの贈り物—

昨年11月に東北の被災地へ視察に行きました。震災から3年が経過しましたが、復興には時間が掛かると改めて感じました。そんな中、岩手県陸前高田市の長洞元気村という仮設集落を訪れた際、中央アジアなどでよく見られる「パオ（移動式住居）」を発見しました。聞くとところによると、アフガニスタンの方から寄付されたものでした。

直径5メートル、高さ3.5メートルで、長洞元気村の皆さんの交流の場となっているそうです。

西条から遠く離れた岩手県の話ではありますが、海外からの暖かい支援は、同じ日本人として嬉しく感じました。(大)



(左)岩手県で発見したアフガニスタンのパオの外見。(下)パオの中身。



ベトナムノート：西条市とフエ市の異なる通学風景

西条には、毎朝「おはようございます」と子供達は知らない私にも大きく明るく元気な声で挨拶してくれます。はじめはちょっとびっくりしましたが、嬉しい気持ちがいっぱいでした。また、子ども達の通学する様子は旗を持つ高学年の子の後ろについて列で静かに歩くのは素敵な姿ですね。子ども達は自立して自分で学校に行くのは素晴らしいと思います。私は日本で色々な所に行って、朝通学中の子供によく会いましたが、西条の子ども達のように挨拶をしません。同じ国でも地域によって子供の教育は違いますね。

ベトナムのフエ市では朝学校に行く時に「行ってきます」と午後家に帰る時に「ただいま」と家族の皆に挨拶しなければなりません。家族だけではなく、知り合いの大人や先生などに会う時も必ず挨拶します。しかし、知らない人にはあまり挨拶しませんね。

それに、子供に一人で通学させません。ベトナムにはバイクが多いし、交通も混乱しているので、子供に一人で学校に行かせるのは本当に不安です。ですから、親



(左)ベトナムの集団通学風景。

達は毎朝忙しくても子供を学校の門まで送って、午後は迎えに行きます。朝は問題がないですが、午後の出迎えは大変な事です。親は自分の仕事もあるし、早く帰れないから、子供は迎えが来るまで学校で遊んで待ちます。

私達も安心安全な環境で子供を育てたいし、できるだけ子供を自立させたいです。但し、国々の環境によって違ってきますからね。いつかベトナムではバイクが減って日本のように安全な生活環境の中で子供が一人で通学できたらいいなと願っています。(レ)

防災知識 シリーズ	こんなとき、どう行動しますか？・What should I do...?・这样的时候怎么办？		
	課題2：地震（じしん）の時	In an earthquake	遇到地震时
日本語（Japanese）	英語（English）	中国語（Chinese）	
①身を守ろう！ ＊ ガラス窓から離れる ＊ 机の下に入って頭を守る ＊ 壊れた建物に近づかない	Protect yourself! Move away from glass windows. Take cover under sturdy objects and shield your head. Do not go near damaged buildings.	保护自己的身体！ 从玻璃窗口离开。 藏身于桌子下，保护自己的头。 不要靠近损坏的建筑物。	
②情報を集めよう！ テレビ、インターネットで震度、震源地、津波を確認しよう。 ＊ 震度5（しんど5→数字が大きいほど強い） ＊ 避難勧告（ひなんかんこく→逃げましょう） ＊ 津波警報（つなみけいほう→高いところへ逃げましょう）	Keep informed! Use the internet and TV to confirm info about the earthquake, as well as any tsunami danger. ＊ 震度5（Shindo 5→the larger the number, the stronger the quake.） ＊ 避難勧告（Hinan kankoku→Evacuate） ＊ 津波警報（Tsunami keiho→Evacuate to a high place）	收集消息！ 通过电视、上网确认烈度、震源地和海啸会不会过来。 ＊ 震度5（烈度5 →数字越大越激烈） ＊ 避難勧告（避难劝告→要逃避） ＊ 津波警報（海啸警报→要逃避到高地）	
③避難しよう！ 避難所の場所を聞く 「ひなんじょはどこですか？」 ※職場や家の近くの避難所を知っておこう！	Take refuge! Ask for the closest evacuation site: Hinanjo / doko / desuka? ※Learn the closest evacuation sites to your home and workplace.	要逃避！ 问别人避难所的地方时， 「ひなんじょ/ どこ/ですか？」 ※要提前知道自己单位和家里附近的避难地点。	

英語
でGO!Don't worry about it!
—もとに戻れない和製英語—

バスケットボールが趣味ですが、いくら練習してもシュートがまだまだ苦手です。なのでチームメートに「ドンマイ」とよく言われています。

「ドンマイ」という軽い慰めは直接英語に使えるのですが、実はそのままの“Don't mind”がネイティブにとっても不自然に聞こえます。「ドンマイ」の気持ちを英語で伝える必要がある場合、“Don't worry about it”を使ってみてください。いつか私とバスケットボールをしていたら、大変役に立つはずの表現です。

日本語は、何百年かかけて英語はもちろんさまざまな外国語から言葉を吸収してきました。その中、和製英語は特に第二次世界大戦以降激しく増えて、その伝達という過程でもととの英語から遠くなることが多かったのです。

それでは、一番もととの英語から遠い和製英語はなんでしょう。個人的には、それは「コンセント」という言葉です。コンセントはもともと Concentric plugから生

まれた言葉だそうです。英語でそういうものを言う時に Electrical outlet (略: Outlet) でしか使われていません。コンセントの発音は Consent という動詞に近く、外国人が言われたら「え？今何を承諾したのか」の不安が起こるかもしれません。

私も日本語で話すときには和製英語の使い方に気を付けなければなりません。日本語になりそうな英語がとても通じないことが多く、微妙な発音の差のせいで会話が複雑になってしまうこともあります。例えば、「私の弟はボレーボールが好きです」という自己紹介で使ってしまったことがあります。Volleyball の発音からボレーボールになりそうなのに。(J)

承諾！？



和製英語

マンション
フリーダイヤル
バイキング
ライブ
テレビゲーム

English

Apartment complex
Toll-free number
All you can eat
Live show, concert
Video game

国際交流 EVENTS

ジョンの英会話

観光ガイドコース受講者募集

◇ 西条市を訪れる外国人に通訳ガイドができる人材を育成します。(中級以上)

日時：5月22日(木)開講 全14回
5月～11月の木曜日(月2回程度)
10時～11時30分

講師：国際交流員ジョン・ウィーラー
場所：総合福祉センター及び市内各所(事前学習・実地)
申込：総務課国際交流係 0897-52-1206

丹原町国際交流協会からのお知らせ

◇ (会員募集) 随時会員を募集しています。いっしょに在日外国人との交流をしませんか。

年会費：3000円
問合せ：丹原町国際交流協会(児玉)
Tel: 0898-68-0246
Eメール: tanbarajpn@yahoo.co.jp

産業文化フェスティバルに出展します！4/29(火・祝)

◇ 国際カフェ(世界のお茶と軽食)
世界各地の珍しいお茶や料理を味わいながら、外国人と交流できるカフェです。

日時：4月29日(火・祝)9時～15時
場所：栄町商店街空店舗内(探してね！！)
問合せ：総務課国際交流係 0897-52-1206

外国人のための日本語教室
「西条日本語勉強会」

日時：毎週日曜日 10時～12時
形式：グループレッスン
レベル：初級～上級
料金：無料
場所：神拝公民館
問合せ：0897-55-6668(谷崎)
Eメール: masue@smile.odn.ne.jp

中国語学習会会員募集

日時：毎週日曜日 10時～正午
場所：神拝公民館(2階会議室)
少人数で楽しく、学習しております。
会費：毎月2000円
問合せ：090-2787-6996(首藤)

外国人就学支援ボランティア募集

◇ 西条市在住の外国人児童・生徒に対して、授業などの学校生活を支援していただける方を募集します。

応募資格：子ども好きで明るく在住外国人支援に関心がある方。
※ 外国語能力は必要ありません。
応募先：総務課国際交流係
0897-52-1206

新年度に入り異動により国際交流NEWSの編集から離れることになりました。まだ船出したばかりの本誌ですが今後とも愛読ください。(さ)

編集
後記

国際交流NEWSスタッフ：

佐竹浩(さ)
チュオン・ディン・レー(レ)
ジョン・ウィーラー(J)
越智大之(大)

